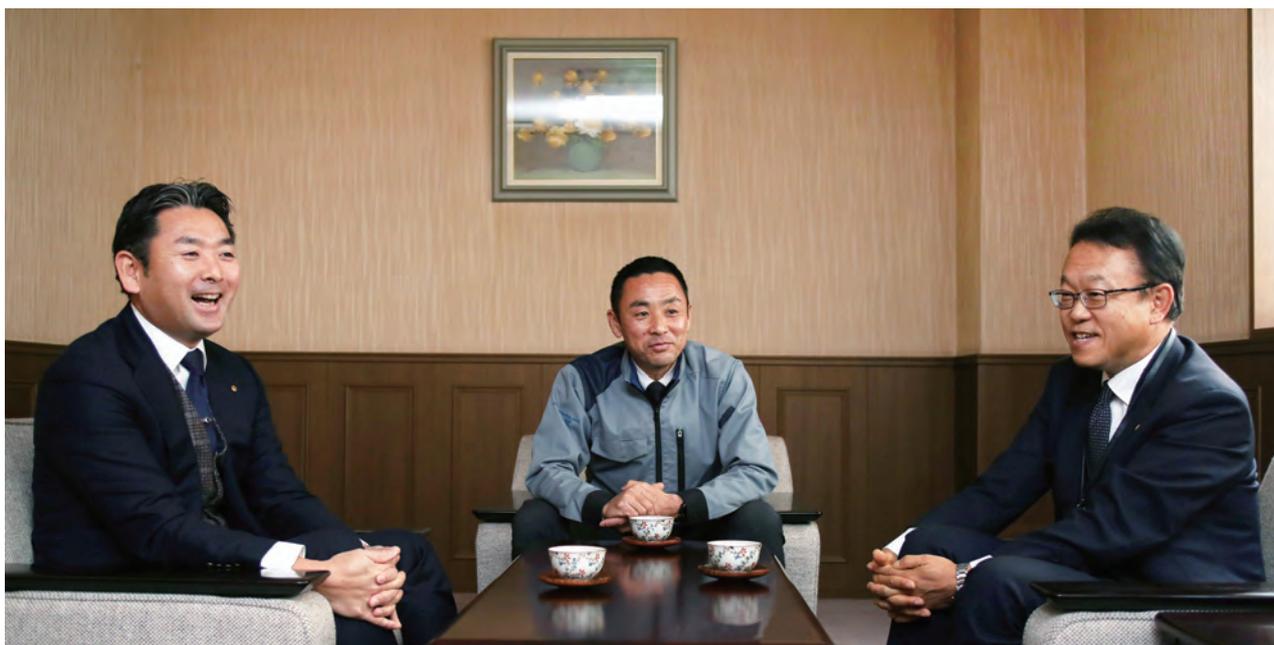


経営者インタビュー

地域の安全と安心な暮らしを守る 生産性向上と社員の働きやすさを追求

株式会社ミヤベ 代表取締役社長 宮部 智之氏
代表取締役副社長 宮部 範久氏



株ミヤベ 宮部範久代表取締役副社長

株ミヤベ 宮部智之代表取締役社長

株山口銀行 村上慎執行役員岩国支店長

今回の「経営者インタビュー」でご紹介するのは、株ミヤベ（岩国市）の宮部智之代表取締役社長と宮部範久代表取締役副社長です。インタビューでは、「地域を守る」という同社の使命感や、社員が働きやすい環境づくりなどについてお聞きしました（聞き手：株山口銀行 村上慎執行役員岩国支店長）。

宮部社長、宮部副社長、村上支店長は、岩国高校サッカー部 OB という共通点をお持ちです。

●経営陣の若返りを図り、新体制がスタート
株山口銀行 村上慎執行役員岩国支店長（以下「村上」）：2019年に宮部智之代表取締役社長、宮部範久代表取締役副社長の新たな経営体制がスタートしましたが、その狙い等についてお聞かせください。

株ミヤベ 宮部智之代表取締役社長（以下「宮部社長」）：当社は、1952（昭和27）年に祖父が創業し、昨年70周年を迎えました。先代も父と叔父が兄弟で社長と副社長を務めていましたが、先々代が急逝し30代半ばで経営を引き継いだ際に苦勞したことから、2人とも元氣

なうちに次の世代に経営を引き継ごうということで、2019年に専務だった私が43歳で社長に、常務だった弟の範久が41歳で副社長に就任しました。先代の社長が相談役、副社長が会長としてフォローができる体制でスタートしたため、社員にも安心感があり、スムーズに新体制に移行できたと思います。

●「人命尊重」を社是として、「地域を守る」という経営理念を貫く

村上：御社の経営理念等についてお聞かせください。

宮部社長：当社の社是は「人命尊重」です。終戦直後の1945年9月の枕崎台風で、当地でも多くの方が亡くなり、祖父の家族も亡くなったことが背景にあります。地域建設業として、地域の方々の命を守ることも含めて、「地域を守る」ことが当社の使命だと考えています。

近年、災害が激甚化・頻発化しており、この20年間でニュースに取り上げられるような激甚災害が5年に1回程度は発生しています。災害発生時には、当社が土砂を撤去するなどして、消防署や自衛隊などの車両が通行できるようにインフラを仮復旧します。その後、本復旧の作業が実施されることとなります。このような



2014年岩国地区豪雨災害の応急対応

● 「地域を守る」への共感が採用に好影響

(株)ミヤベ 宮部範久代表取締役副社長（以下「宮部副社長」）：当社の社員は、災害復旧工事や凍結防止剤の散布作業などに社会的意義を感じ、やりがいと誇りを持っており、率先して活動してくれています。税金が使われる公共工事ですので、かつてはアピールするのを控えていましたが、社員のモチベーションを考え、最近はホームページやYouTube、インスタグラムなどで土木工事の社会的意義や面白さ等を発信し始めました。東日本大震災以降、ボランティア活動等の社会貢献に興味を持つ若者が増えており、「地域を守る」という当社の理念に共感してくれる学生が増えています。災害復旧などは危険ですし厳しい仕事ですが、「地域を守る」という社会的意義を発信したうえで、来てくれ

災害時の復旧に携わっていることは、当社の地域における存在意義だと考えています。地元を守る仕事に50年間関わり続けていますので、その仕事に誇りを持つと同時に、地域に感謝しながら業務に取り組んでいます。

村上：災害時以外にも、日頃から道路を守られていますよね。

宮部社長：その通りです。災害時だけでなく、24時間体制での国道・県道のパトロールを請け負っており、何か問題があれば迅速に対応しています。

村上：御社のおかげで、地元の方が安心・安全に暮らせていますね。



凍結防止剤散布の様子

る人を採用しています。その結果、安定的に採用できるようになり、今年は新卒者が5人採用できました。離職率も低下しています。



現場で活躍する若手社員(測量の様子)

村上：仕事の背景にある社会的意義をきちんと伝え、若い世代に響くということですね。

宮部副社長：そう思います。災害時などで地域に根ざして貢献する仕事は、大手建設会社はあまりやりません。大手でトンネルやダムなど大きなインフラを作ることもやりがいのある仕事だと思いますが、転勤が多いため、地元意識は根付きにくいと思います。中小企業だからこそ、地元で根を張って人生を設計できる良さがあります。自分が生まれ育った地元を守るのは、やりがいがあり誇りを持てる仕事だという点に、当社の若手社員が共感してくれています。



現場で活躍する若手社員(道路の仮舗装の様子)

●6年連続で「工事成績優秀企業」に認定

村上：国土交通省の「工事成績優秀企業」に認定されていますね。

宮部社長：当社は、国土交通省の「工事成績優秀企業」(ゴールドカード)に6年連続で認定されています。認定されるのはなかなか難しく、6年連続はかなり少ないと思います。認定においては、地域と連携しながらいかに良いものを作るかも重要です。高度技術や地域貢献など様々な要素で評価されており、この認定は励みになっています。

(編集部注：2022年度の認定企業は県内では9社で、総合工事業の事業所数220社のわずか4%。6年連続は同社を含め2社のみ。)



国道188号岩国駅前交差点舗装外工事



一般県道銭壺山公園線整備工事

●生産性向上に取り組み、新3K（給与、休暇、希望）を掲げる

村上：生産性向上にも積極的に取り組んでいらっしゃいますね。

宮部副社長：最近働き方改革が叫ばれていますが、当社は以前から生産性向上に取り組んできました。その結果が、いわゆる働き方改革につながっていると思います。最初の取り組みは、2016年に社内決裁をスピードアップするために導入した社内決裁システムでした。現場の社員が設計変更等の社内決裁を受けるために本社に出向いたり、判子を押して回付したりする必要がなくなり、生産性が大幅に向上しました。現在は、注文書も電子サインが可能になっているので、以前は1か月以上かかっていたのが今では早ければ半日で工事請負契約が完了するようになりました。勤怠管理も、全員に配布しているGPS付きスマートフォンのアプリで入力するようにして効率化しました。

村上：完全週休二日制を導入された経緯等についてお聞かせください。

宮部社長：当社では、人材の獲得と育成が重要な課題だと考えており、若者にメッセージが伝わりやすいように、新3K（給与、休暇、希望）を掲げています。

宮部副社長：従来から現場が若手社員の入社を望んでいましたが、土曜日に出勤がある会社は敬遠されます。そこで、2020年1月から完全週休二日制をスタートしました。土曜日を休みにしても工期が伸びないように工夫したり、発注者との工期延期の交渉を適切に行ったりすることなどにより実現できました。それまでの生産性向上の取り組みも寄与しました。

村上：社員の皆さんの反応はいかがでしたか。

宮部副社長：実施前には、社員の中には納期に間に合わなくなるなど反対意見があったのですが、実施後の社内のアンケートでは、ほとんどの社員が完全週休二日制にして良かったと回答してくれています。

月に2回、金曜日に「はよう帰ろうDAY」も設けています。総務部長の発案なのですが、「早帰り日」よりも親しみ易い言い方なので社



宮部社長



宮部副社長

員に浸透しています。また、育児休暇を取りやすい環境づくりに取り組んでいるほか、短時間勤務など多様な働き方も可能にしました。

また、ベテラン社員講師による若手社員育成制度「M'sアカデミー」、DX推進（オンライン決裁システム・出退勤管理・施工管理）、新3Kを実践するためのユーチューブチャンネルの開設などの取り組みが評価され、令和4年度「やまぐち働き方改革推進優良企業表彰」で優秀賞を受賞しました。

社員には、仕事をしながら趣味の分野でも充実してほしいと考えており、趣味を持つことを応援しています。社員の中には、Jリーグの審判員や、ベンチプレスの世界大会優勝者もいます。地域に根ざして生活することの良さは、私生活でも好きなことを続けられる点だと考えています。

村上：ワークライフバランスを支援されており、社員のご家族も喜ばれているでしょうね。



やまぐち働き方改革推進優良企業表彰

●若手社員が中心となってDXを推進

村上：ドローンやICTの活用にも力を入れていらっしゃいますね。

宮部副社長：生産性向上を図るため、図面の3D化に取り組んでいます。ドローンに搭載したカメラやレーザースキャナーで測量して図面化するため、ドローンを十数台導入し、ICT建設機械も2台導入しました。20代前半の若手社員はドローンの取り扱いを必須としており、図面の3D化は若手社員に任せています。

当社では、DX推進が目的化ないように気を付けながら、会社のやり方や風土に馴染むように新しい仕組みを自分たちで作っています。若い経営陣だからこそ、今の若い人たちと一体感を持ってDX推進や事務所のフリーアドレス化などに取り組むことができていると思います。

村上：大手企業と連携したDXにも取り組んでいらっしゃいますね。

宮部副社長：昨年、(株)EARTHBRAIN（小松製作所、NTTコミュニケーションズ、ソニー、野村総合研究所の共同出資会社）とパートナー協定を締結してDX推進に取り組んでおり、地



ドローンを操縦する若手社員

域で新しいビジネスモデルを作れるような企業を目指したいと考えています。

宮部社長：建設業界は他の業界に比べて自動化やIT化があまり進んでおらず、100年前からほとんど変わっていないとも言えます。就業人口が減少し生産性向上が求められている中で、まずは経営者が新しいものを取り入れてチャレンジする姿勢が重要だと考えています。

村上：地域企業ならではの良さと最先端の技術をうまく融合させる取り組みは、県内の経営者の参考になると思います。



フリーアドレス化された事務室

●地域貢献の取り組みとして、発達障害児への支援を計画中

村上：地域貢献にも積極的に取り組んでいらっしゃいますね。

宮部副社長：当社が70年間事業を続けてこれたのは、地域の方々のご理解・ご協力があったからであり、何らかの形で地域に貢献したいと考えています。地域のお客さまも次世代に代わっていくことを踏まえて、地元の中学校や高校を中心に前出授業や職業体験を実施しています。また、発達障害児への支援を行う㈱三葉様と連携して、本社近隣の遊休地に「COMPASS 発達支援センター」の設置を計画しています。岩国市とも協議をしながら検討を進めており、来年、建物が完成する予定です。

社員や社員の家族を幸せにできれば、次は地域の皆さんを幸せにしたい、社員や地域の人か

ら「良い会社だね」と言われるような企業になりたいと考えています。

村上：宮部社長様、宮部副社長様、今日はインタビューにご協力いただきありがとうございます。



まるでIT企業のような本社事務室にて社員の皆様と（前列左から3人目が㈱ミヤベ 宮部智之代表取締役社長、右から2人目が㈱ミヤベ 宮部範久代表取締役副社長、右から3人目が㈱山口銀行 村上慎執行役員岩国支店長）

■会社概要

名称：株式会社ミヤベ
 設立：1952（昭和27）年8月28日
 資本金：4,800万円
 従業員数：約60名

事業内容：一般土木工事、民間工事、災害復旧工事、
 道路の舗装・維持・点検・
 補修等

本社所在地：岩国市元町1丁目8番10号
 URL：https://www.kk-miyabe.net/

